

令和7年度 地域と学校の連携・協働「絆」体制構築事業

【本事業における課題や目標、評価・分析】

日之影町

【本年度重点的に取り組む課題】

- ・学校運営上の課題
- ・社会に開かれた教育課程

【課題の詳細】

学校では、地域住民を巻き込んだ、伝統芸能等を取り入れた教育課程を編成し、地域とともにある学校運営を行っている。日之影町は、高齢化、また人口減少による担い手や後継者等の人材が不足し、地域の伝統文化や伝統芸能の継承が難しくなりつつある現状があり、学校と地域で課題を共有し、持続可能な方法やあり方等について検討を始めている。

【課題解決のために本事業で取り組むこと】

地域に根差し、充実した学校運営を行うため、学校運営協議会において、目指す学校像や学校と地域それぞれが抱える課題を共有し、解決に向け、それぞれが持っている知恵を出し合い、熟議を重ねながら、教育課程に取り入れる等、実践しながら取り組んできた。今後も各学校に配置されている地域学校協働活動推進員を中心に、より多くの地域住民を学校運営に参画させられるよう、継続して取り組んでいく。

【本事業で達成する目標】

教職員が担ってきた業務の一部（地域住民との連絡調整や候補者探し等）を地域学校協働活動推進員が担う等、さらなる役割分担を進め、教職員の負担軽減を図る。また、これまで以上に、より多くの地域住民を学校運営に参画させ、充実した学校運営となるよう地域学校協働活動推進員と協働しながら取り組む。

【目標の達成度を測る指標】

- ①地域人材を生かした教育活動の割合
- ②地域学校協働活動推進員が連絡・調整した回数

現状の数値（R6末）	本年度（R7）の目標値	本年度の実績値（R7末）
①100%	①100%	①100%
②36回	②40回	②48回

【目標に対する評価・分析】

令和7年度も学校運営協議会において、学校と地域それぞれが持つ強みや課題を共有し、また解決に向け、知恵や知識を出し合う等、熟議を重ねながら、実践を重ねてきた。学校運営協議会、また地域学校協働活動での取り組みを通し、学校は地域の人や良さを知り、また地域は学校を知るきっかけとなり、地域と学校の結束力をさらに高めることができた。地域の「ひと・もの・こと」を知り、その良さや強みを各学校の教育課程に生かすとともに、日之影町の魅力を再発見する機会となっている。